



小郡市立大原中学校 令和7年11月4日 第29号

大原中学校だより

「自走」と「協働」と「主体性」 校長 野中文明

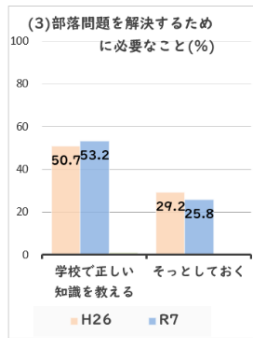
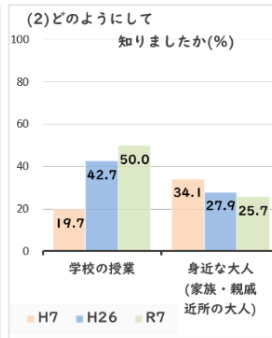
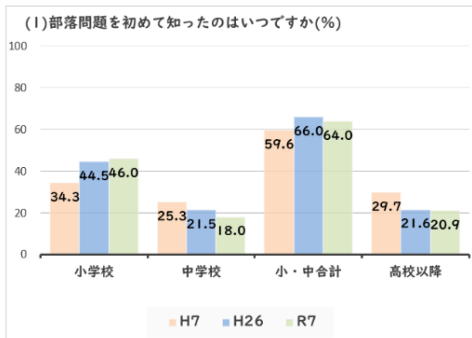


【学校教育目標】自分の人生をよりよくするために、自分で考え判断し行動できる生徒の育成

授業参観及び学級懇談会へ多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

人権・同和問題に関する市民意識調査の結果

10月31日(金)に授業参観を実施したところ、多くの保護者の方にご参観いただき、本当にありがとうございました。ところで小郡市では、令和6年に市内在住の2000人を対象に人権・同和に関する市民意識調査を行っています。その結果の一部をご紹介します。(平成13年も調査を行っていますが、同様の質問項目がなかったため、今回は紹介していません。また、(3)の質問については、H7においては質問の形式が異なっていましたので(4)で別に示しています。)



(1)については、学校で知っているという割合が多くなっています。知らないという人の割合が約3%なので、ほとんどの人は、部落問題について知っているということになります。(2)については約半数が、学校の授業という結果になっています。ただ、身近な大人から知ったという場合も30%弱あります。身近な大人から知る場合があってもいいのですが、問題はどのように伝わったのかということです。つまり、正しく伝わったのかどうかということは気になります。また、身近な大人以外にテレビやラジオ、インターネットや広報等から知ったという場合も合わせて15%ほどあります。(3)については、部落問題の解消のためには、学校で正しい知識を教えた方がいいという考えが増えてきています。(4)についても学校で学ぶ必要性を感じている方が多いと考えられます。



部落差別はおかしいと思える出会い方をして欲しい

部落差別は、今も残っています。私たちは、全ての子どもが自分の未来に明るい展望をもつことが出来るような社会にしたいと考えています。小郡市では、ほとんどの人が部落問題について知っています。その人たちの約半数が、学校以外の場所で知っています。学校で教えずとも知るのです。ならば、先回りして子ども達には、学校で正しく学んでほしいと思っています。学校で教えるから、かえて広まるという考えも世の中にはあります。私は、その考え方は、知った人は差別をする

ということが前提になっている考え方ではないかと思っています。私は、子ども達は正しく出会うことで、正しく理解してくれると信じています。だから学校で教えています。身近な大人から知る場合もあります。保護者の方々もその中に入ります。部落差別をはじめとしてあらゆる差別が、「おかしい」と思うことのできる子どもを、保護者の皆様と一緒に育てていきたいと思っています。よろしくお願いします。

新生徒会が動き始めます！旧生徒会役員の皆さん、これまで本当にお疲れ様でした。

新しい役員たちも期待「大」です

旧生徒会役員が活動していましたが、本年度から3年生が受験に向けて早く集中できるようにということで、10月末での交代としました。旧生徒会役員の退任のあいさつでは、誰もが苦労はあったけど自分が成長できたことを実感していました。自分ができることの範囲だけで過ごしては、成長はありません。負荷のかかることに挑んだことで、成長は促されます。先ずは、負荷のかかることを承知でチャレンジをした皆さんに敬意を表したいと思います。そして、大原文化を継承・発展させてくれたことに心から感謝したいと思います。本当にありがとうございました。そして、新役員の皆さんからは、これからの抱負が語られました。私は、聞きながら楽しくなっていました。大原中の未来を考え、そこに向かって進もうと次から次へとポジティブな言葉のシャワーを浴びると、こんなにもワクワクするんだと改めて思いました。期待しています。

10月27日(月)と29日(水)の2日間で、新旧生徒会役員の引継ぎ式を行いました。例年、2学期末まで



3年生の保育体験は、温かい気持ちになります。野田宇太郎献詩で表彰されました。

中3生の笑顔が素敵です

10月21日(火)と29日(水)の2日間で、小郡保育園で家庭科の授業の一環で保育体験をさせていただきました。毎年、この時期にお世話になっています。3年生の笑顔がとっても素敵です。幼児の可愛さに触れて、自然と笑顔になるのだと思います。でも、よく考えてください。皆さんも同じ頃があったのです。皆さんの笑顔が、お家の方だけではなく、周囲の人みんなを笑顔にしています。皆さんの笑顔にどれだけ癒されたことか……。皆さんは、愛されて育っています。是非、自分が小さ頃の様子を聞いてみてください。



野田宇太郎誕生祭への献詩で3人が入選しました

10月26日(日)に野田宇太郎誕生祭で大原中から3人が表彰されました。これは、小郡市松崎出身の詩人・野田宇太郎先生の業績を称え、毎年、誕生月の10月に行っている催しで、全国から献詩を募集しているものです。今回、本校からは、3年生の
さん、 さん、1年生の さんが入選しました。当日は、参加できたのは2人でしたが、加地市長から表彰されていました。3人とも、素敵な詩でした。おめでとう！



【一緒に写っているのはお孫さんです】